



トンガレポート <10>

2018/4/6

青年海外協力隊 シニアボランティア
2016年度 2次隊 卓球隊員 西岡 昌彦

これまでトンガレポート 5~9 の 5回に渡りトンガでの卓球指導や環境の様子をお伝えしました。一旦、卓球の話題は中断してこの先は再び卓球以外の話題をお伝えします。

1、トンガの位置と冬

本来ならもっと早く去年のうちにこの話題をお伝えしたかったのですが、前述のようにトンガレポート5から卓球の話題に移行してしまったため機を逸してしまいました。「今さら」というような話題ですが、我々ボランティア同士で話をしていても日本の皆様の中にはトンガをどこか別の国と取り違えて「トンガはアフリカにある」と思われている方が時々いらっしゃるということがわかりましたので、あえて話題に取り上げました。

右の地図にありますようにトンガは日本から見て南東方向、直線距離で約8,000kmの南太平洋にあります。



現在、日本からトンガへの直行便はありませんので、ニュージーランドのオークランド経由が一般的なルートです。

乗り継ぎを含めて日本から2日かかります。

トンガは日本から見れば南の方角なので、常夏のイメージがありますが赤道を超えてさらに南に位置するため6~8月の冬にあたる時期には気温が20度を下回ることもあり、昼間も長袖を着用しますし、夜は毛布を2枚使用しないといけないほど寒くなります。

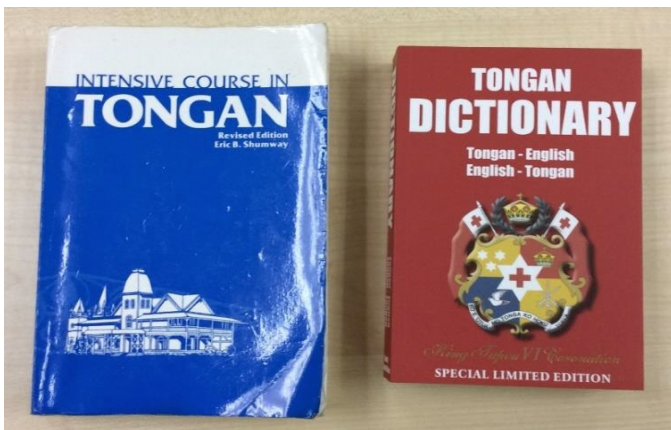
トンガレポート2を作成した2017年2月時点ではまだトンガ生活が1年経っておらず、私自身もトンガを「常夏」のイメージで紹介しましたが、その後6~8月「トンガの冬」を経験して認識が変わりましたのでこの場で訂正してお伝えします。

2、トンガ語

トンガの公用語は「トンガ語」と「英語」です。トンガ語は日本語と似たような点はいくつかあり面白いので今回紹介します。ただ、私は言語学者ではありませんので細部について正確にお伝えすることは困難です。そのため、概略をご案内しますので了承願います。

<母音> 「a」「e」「i」「o」「u」の5つ。
<子音> 「f」「h」「k」「l」「m」「n」「ng」「p」「s」「t」「v」の11。

上記の文字を使って音を作ります。特徴は子音の数が少ないこと、そして子音は独立して存在することなく、必ずそのあとに母音が連結します。ということは、ほとんどの言葉がカタカナで表記できる=日本人にとっては発音しやすい言語と



(トンガ語の教科書・左、と辞書)

言えます。さらに日本人にとってありがたいのは「r」がないことです。ラ行はすべて「l」のため綴りを間違えることもありません。我々が最も苦手とするカタカナで書けない「th」や「ch」など子音が連続することもないので発音は大変楽です。唯一例外で「ng」という綴りがありますがこれもカタカナで「ング」と書けるので苦になりません。

では次に、上記にない子音が出てきたらどうなるかを説明します。代表例として「Japan」。これは英語ですがトンガ語に「J」は存在しないので音としてそれに一番近い「S」を引用して変換し「Siapani」となります。読み方は「シアパーニ」です。綴りの最後、「n」で終わってもよさそうなのに子音は独立して存在しないルールにより「ni」で終わっているところが何ともかわいらしく感じます。「Chaina」の「C」もトンガ語の子音にはないのでトンガ語に変換すると「Siaina」となります。

右の写真はトンガ産の「イカレ」ビール。カタカナ表記にすると何だか気の抜けたイメージになってしましますが、「Ikale」＝「Eagle」（英語で鷲）なので「鷲ビール」というしゃれた名前がついています。



このようにカタカナ表記ができるということはトンガ語と日本語で「同じ音(ただし抑揚が異なる場合があります)」でも、異なる意味になる言葉がたくさんあります。代表例をいくつか紹介します。アルファベットをそのままローマ字読みしてください、＝の後がトンガ語での意味です。

kai＝食べる、inu＝飲む、sio＝見る、ilo＝知る、kuli＝犬、ahoni＝今日、ita＝怒る

「いかれたひ」私の独断ですが、これがトンガ語で子供から大人まで誰もが知っている一番有名な言葉(愛称)だと思います。「いかれたひ」⇒「イカレタヒ」⇒「イカレ・タヒ」⇒「Ikale Tahī」Ikale は前述のように「鷲」という意味です、Tahī はトンガ語で「海」を意味しますので日本語にすると語順を入れ替え「海鷲」という意味になります。これはラグビー、トンガナショナルチームの愛称です。なかなかスポーツ熱の起こりにくいこの国において、ラグビーは熱狂的な人気があり羨ましく思います。

この Ikale Tahī は 2019年に日本で行われるラグビーワールドカップの出場権を得ています。彼らが来年日本に来た際「いかれたひ」は「海鷲」とご理解の上、ぜひ応援いただきますようお願いいたします。



(2017/7/8 にトンガで行われた トンガ Ikare Tahī 対フィジー Flying Fijians の国際試合。奥の建屋の屋根に IKALE TAHI の文字が見える。赤のユニフォームがトンガ。)

さて、私の残り任期もあと半年となりました。残りの期間内にどれだけトンガの話題をお伝えできるかわかりませんが、また近いうちに情報提供するよう努力いたします。